

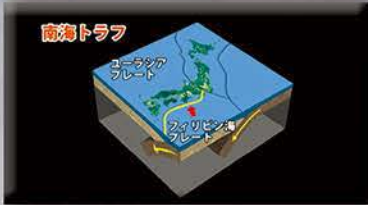
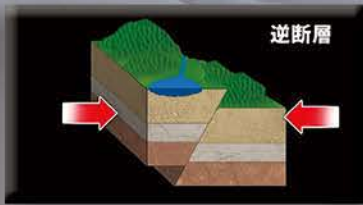
監修：日本災害復興学会会長
明治大学大学院特任教授 工学博士 中林 一樹

文部科学省選定

検証 巨大地震

活断層のメカニズム

正しく理解して正しく備える



企画意図

2013年4月13日に発生した、兵庫県の淡路島付近を震源とする、最大震度6弱の地震は、未知の活断層によるものといわれています。活断層による地震とは、どのような特徴があるのでしょうか？

本作品では、4月13日の淡路島の地震を導入として、活断層とは何か、活断層による地震とは？といった地震のメカニズムを、CGやイラストで、わかりやすく解説。そして、活断層が原因の地震がもたらす被害について、4月13日の淡路島の地震の被災者インタビューや、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、岩手・宮城内陸地震の映像をもとに検証していきます。最後に、突然の強い揺れに備えるための日頃の備えについて、わかりやすく解説します。

活断層による地震が起こると、突然、強い揺れに見舞われます。大都市など人口が密集しているところが震源である場合、緊急地震速報が間に合わないことがほとんどです。日頃、いかに備え、身の回りを安全しておくかが、命を守る決め手になることを強く訴えます。

■明らかにになってきた活断層の実態

2013年4月13日早朝、兵庫県淡路島付近、深さ約15キロを震源とする地震が発生。最大深度6弱を記録した。この地震は活断層によるものと言われている。

1995年の兵庫県南部地震が引き起こした、阪神・淡路大震災も、活断層による地震だった。この震災をきっかけに各地で調査が行われ、活断層の実態が明らかにになってきた。活断層とは？活断層による地震とは？

■活断層とは何かー地震の起こるしくみ

日本で確認されている110もの活断層帯。それ以外にも未知の活断層がたくさん存在すると言われている。断層のずれ方の種類を詳しく解説し、過去の地震が、どれに当てはまるか検証していく。例えば東日本大震災のとき、地下では、どのようなことが起こっていたのか。その後の研究でわかってきた、活断層の動きとは？

■活断層による地震を振り返る

○兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)

大都市の直下で活断層がずれるとどうなるのか、まざまざと見せつけた地震だ。最大震度7を記録した激しい揺れにより、家屋の倒壊、二次災害の大火災、そして厳しい避難所生活の長期化により、最終的に6,434人ものが亡

くなり、都市にも壊滅的な被害を与えた。

○新潟県中越地震

降雨で地盤が緩んでいたところに地震が発生。山崩れや土砂崩れで鉄道・道路が各所で分断。土砂に埋まり亡くなる悲劇が起こった。

○岩手・宮城内陸地震

標高差150メートルにわたって山が崩れるという巨大な地すべりが発生。崩れた山が土石流となって流れ落ち、死者、行方不明者を出した。

■活断層の地震に備える

○自分の住んでいる地域の危険性を知ること

国土地理院のホームページでは、活断層の場所を公開している。自分が住んでいる地域の危険性を知り、活断層の地震で、どんなことが起こるかイメージした上で地震に備えよう。

○建物の耐震、免震、家具の固定、落下物防止

活断層による地震の特徴とは、緊急地震速報が間に合わない速さで襲ってくる強い揺れ。それに備えるには、まず建物の倒壊、家具の転倒、物の落下を防ぐことが必須だ。

○家にいるとき地震が起こったら…

家の中には、どのような危険があるか、家族でチェックしてみよう。家具の固定のしかたや器具、いざという時に役立つ様々な防災グッズも紹介し、常に身に付けておくことを薦める。

監修

日本災害復興学会会長
明治大学大学院特任教授
工学博士 中林 一樹

企画・制作統括

高木 裕己

脚本・演出

川崎 けい子

コーディネーター

斎藤 晃顕

■ DVD・VHS [カラー・20分]

■ ライブラリー価格 ¥65,000+税

■ 制作著作：株式会社映学社（2014年）

●お問い合わせ、お買い上げは……



〒160-0022 東京都新宿区新宿5-7-8らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729(代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>